

平成27年度 指定管理者年度総合評価表
(平成27年4月～平成28年3月実施分)

作成日	平成28年 6月 7日
-----	-------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市職業訓練施設	
所在地	八戸市類家二丁目7番30号	
施設概要	<p>【設置目的】 技能労働者の職業訓練を充実・強化することにより、職業能力の開発を図り、技能労働者の地位向上及び福祉の増進に資するための施設</p> <p>【施設概要】 (1)建物構造：鉄筋コンクリート造、地上2階建 (2)敷地面積：1135.2㎡ (3)延床面積：680.4㎡(1階：491.0㎡、2階189.4㎡)</p>	
指定管理者	名称	職業訓練法人 八戸職業能力開発協会
	代表者	会長 東野 禮二 (平成28年6月1日現在 会長 寺沢 政男)
	所在地	八戸市類家二丁目7番30号
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	
指定管理者の業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練施設の利用に関する業務 ・ 施設、設備等の維持管理に関する業務 	
市所管課 (問合せ先)	商工労働部 産業労政課 雇用支援対策グループ	
	電話	0178-43-9038 (直通)
	E-mail	sangyo@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	<p>優れた技能労働者の養成を目指し、職業訓練を通して職業能力の向上を図るための施設として、普通課程と短期課程を開設した。</p> <p>協会運営の広報活動として、ホームページに情報を随時発信し、地域企業や住民の理解を深め、より一層効果的な活動をするため、求人申し込みのお願いを会員事業所に周知・強化するとともに、短期課程において、国家試験技能検定受験者に応じたコースを設定した。</p> <p>また、施設の維持管理については、利用者が安全に利用できるように適切に対応した。</p>
今後の目標	訓練生の確保に力を入れるとともに、技能者の技術向上に努める。

■市(所管課)の総合評価

評価	<p>生徒が安心して学べる環境の確保に努め、施設の特性に応じた適切な管理運営が行われていた。</p> <p>普通課程訓練科においては、会員事業所への周知により、14名の新入生を確保することができ、短期課程訓練科においては、建築塗装コース、建築板金コース、建築大工コースで試験直前講習会を開く等、国家試験合格率を高めるために創意工夫を凝らし、会員事業所および生徒のニーズに応えた内容を実施していた。</p>
指摘事項	特になし。

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
従事者の教育・研修	○	認定職業訓練事務職員研修に参加するなど、従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	生徒と職員で避難訓練を実施するなど、事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	—	指定管理料がないため対象外。
通帳、印鑑の管理	—	指定管理料がないため対象外。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理の選定を受けているので対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理の選定を受けているので引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可、使用制限、使用条件の変更、入場拒否が施設設置条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	—	該当なし。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 ・清掃業務は、職員及び生徒が実施していた。 ・浄化槽維持管理業務は、業者に委託していた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
職業訓練実施状況	○	<p>【普通課程】 塑性加工科 1年6名、2年2名 木造建築科 1年4名、2年2名 建築設計科 1年4名</p> <p>【短期課程】 建築塗装コース学科 11名 建築塗装コース実技 21名 建築大工コース実技 4名 建築板金コース実技 10名</p>
その他利用状況	◎	<p>【国家試験技能検定等会場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築大工検定会場 ・建築塗装検定会場 <p>【震災復興訓練会場】</p> <p>24年度から引き続き震災復興訓練会場として、使用されていた。</p>
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	会員の拡大と組織体制の強化を図り、訓練生の確保に努めた。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	—	施設の維持管理に要する経費は、協会で負担して管理されていた。

4 運営に係る体制整備状況等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	職業訓練満足度については、生徒数が少ないことから、直に意見を聞けるため、生徒の声を活かす取り組みをしていた。管理・運営内容については、随時、指定管理団体の役員会に諮っているほか、会員事業所にも状況を報告し、理解を得ていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した、物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング				
自主点検状況	実施状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・建物及び設備に関しては、清掃時に点検・把握に努めていた。 ・浄化槽は、業者点検時に立会い、問題点の把握に努めていた。 ・生徒募集等においては、求人検討委員会を開催し、生徒確保対策を検討していた。 			
2 定期モニタリング				
定期報告状況	実施状況			
	月報、事業報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。			
3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	6回	4月16日	GL・担当	帳簿等の確認
		5月27日	GL・担当	帳簿等の確認
		6月29日	GL・担当	帳簿等の確認
		8月25日	GL・担当	帳簿等の確認
		1月29日	次長	事務連絡・運営状況確認
		2月2日	次長	事務連絡・運営状況確認
	実施結果			
<ul style="list-style-type: none"> ・帳簿等の管理に特に問題はなく、適切に行われていた。 ・事業の実施状況も適切であった。 				

※GL：グループリーダー